

## 株主メモ

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 事業年度                   | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当の基準日               | 3月31日           |
| 中間配当の基準日               | 9月30日           |
| 定時株主総会                 | 毎年6月            |
| 単元株式数                  | 100株            |
| 株主名簿管理人<br>特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |

## 株式に関する手続き

### ▶ 単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

#### 単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

|         |                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| お問い合わせ先 | 東京都府中市日鋼町1-1<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-232-711(通話料無料)<br>(郵送先)〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所                                                                                                              |
| 公告方法    | 日本経済新聞                                                                                                               |

### ▶ 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

#### 特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

### ▶ 未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

### 株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。

当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階  
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



# alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社



## 株主のみなさまへ

2019年3月期 報告書

(2018年4月～2019年3月)

証券コード 2784

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup

# TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、3カ年の中期経営計画「16-18 中期経営計画 明日への躍進」のもと、グループ経営方針（Challenge 3）に取り組んでまいりました。最終年度である当期は、医療用医薬品等卸売事業において、環境変化に先駆けた営業改革・物流改革を行い、地域包括ケアシステムへの取り組みや、医薬品等の物流のさらなる高度化と効率化を推進いたしました。また、セルフメディケーション卸売事業における海外拠点の開設や、医薬品等製造事業における海外への製品供給契約締結、海外企業との包括的な戦略的業務提携の締結など、海外での幅広い取り組みが前進いたしました。

2019年3月期の連結業績は、売上高2兆6,405億円（前期比1.4%増）、営業利益447億円（同7.2%増）、そして親会社株主に帰属する当期純利益が416億円（同17.2%増）と最高益となり、増収増益を達成いたしました。配当につきましては、普通配当42円に設立15周年記念配当6円を加え、年間配当金48円といたしました。

## 配当について

2019年3月期の配当金は、連結純資産配当率（DOE）2.0%以上の基本方針のもと、中間配当金および期末配当金を普通配当21円に設立15周年記念配当3円を加えた各24円とし、年間配当金48円といたしました。

19-21 中期経営計画より配当方針をDOE2.3%以上に引き上げ、2020年3月期は中間配当金25円、期末配当金25円で年間配当金50円を予定しております。

## グループ経営目標の成果

|                      | 16-18 中期経営計画 | 2019年3月期実績             |
|----------------------|--------------|------------------------|
| 売上高                  | 2兆7,000億円    | 2兆6,405億円              |
| 営業利益率                | 1.5%以上       | 1.7%                   |
| 当期純利益率 <sup>*1</sup> | 1.2%以上       | 1.6%                   |
| 投資計画（累計）             | 累計1,000億円規模  | 累計653億円                |
| ROE                  | 8.0%水準       | 9.5%                   |
| 株主還元                 | DOE 2.0%以上   | DOE 2.3% <sup>*2</sup> |

<sup>\*1</sup> 親会社株主に帰属する当期純利益率

<sup>\*2</sup> 2019年3月期配当には、記念配当6円を含みます。記念配当を除くDOEは2.1%

この結果、16-18 中期経営計画で掲げたグループ経営目標は、売上高などを除き達成することができました。

本年4月からは、新たに「19-21 中期経営計画 さらに成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」がスタートいたしました。当社グループが「めざす姿」として掲げるヘルスケアコンソーシアムの具現化に向け、成長分野への積極的な投資で事業モデルを変革し、従来の医薬品主体の事業から、健康領域における幅広い事業へと領域の拡大を図ります。また、地域包括ケアシステムへの取り組みをさらに強化し、医療・介護供給体制の変化に迅速に対応してまいります。

資本政策では、「財務健全性」「資本効率」および「株主還元」の最適バランスの追求を掲げ、株主還元方針につきましては、従来のDOE2.0%以上からDOE2.3%以上に引き上げ、安定的で継続的な株主還元に努めてまいります。

さらに、取締役等の報酬と当社グループの連結業績および当社の株価との間により高い連動性を持たせた、新たな業績連動型株式報酬制度を導入いたしました。中期経営計画の業績目標達成を後押しし、株主のみなさまと価値観を共有できる制度であると考えております。

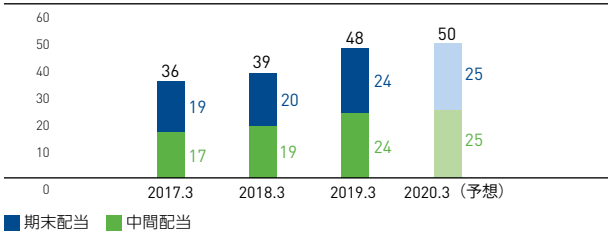
当社グループは、今後も中長期の持続的成長に向けた課題に継続的に取り組み、企業価値を向上させてまいります。株主のみなさまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

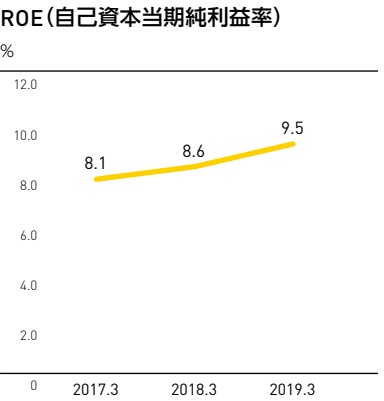
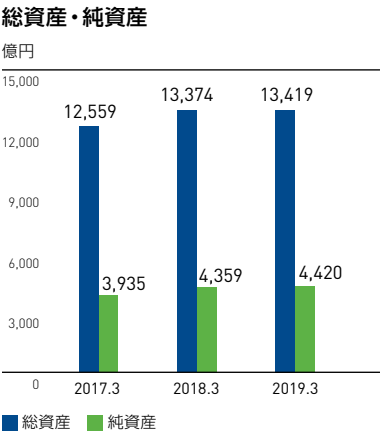
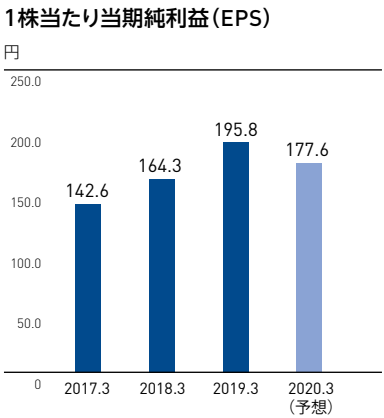
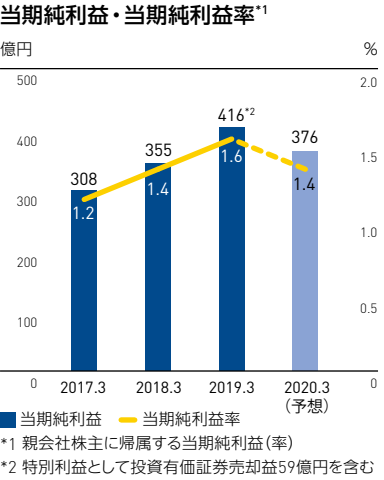
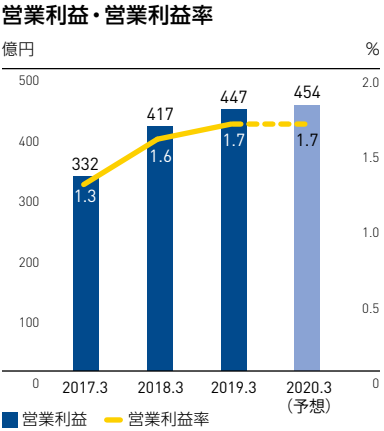
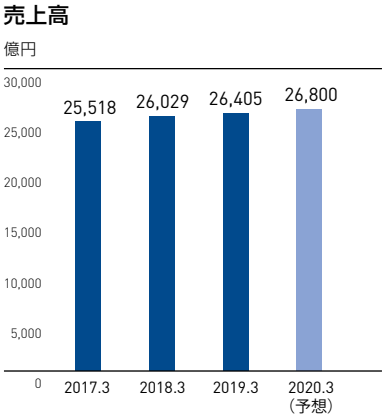
久保泰三

## 1株当たり配当金

円



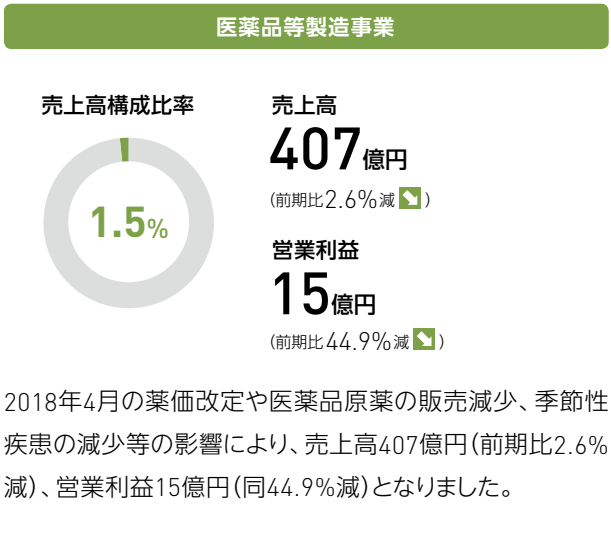
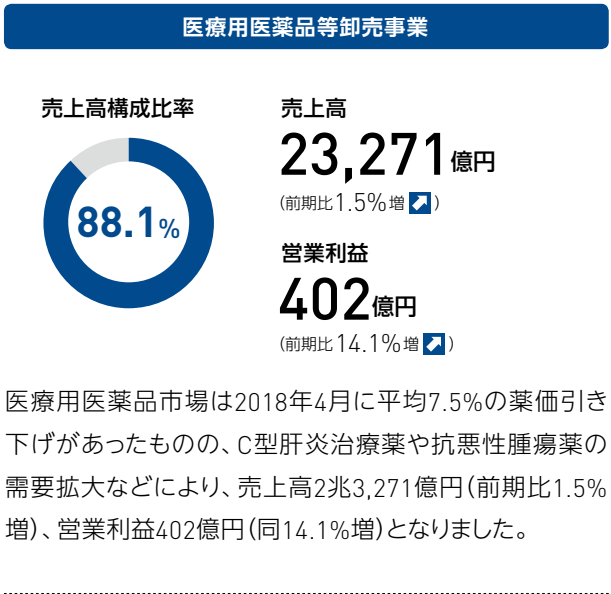
# 連結財務ハイライト



## 「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

# 事業別業績



## 特集

# 19-21 中期経営計画

## さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～

本年4月より「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」がスタートしました。医療や社会を取り巻く環境変化に向け、健康領域における事業拡大と地域包括ケアシステムへの取り組みを強化し、さらなる成長をめざします。

### 今後想定される経営環境変化

#### 社会環境

- ・高齢者人口増加
- ・生産年齢人口減少
- ・地域間格差
- ・技術革新

#### 医療を取り巻く環境

- ・医療・介護提供体制の改革（地域包括ケアシステムの推進）
- ・医療費の抑制

健康領域における事業拡大  
地域包括ケアシステムへの  
取り組みを強化

### グループ経営方針

グループ連携  
体制の構築

事業モデルの  
変革

地域の人々の  
健康への貢献

さらなる  
生産性の向上

人づくり

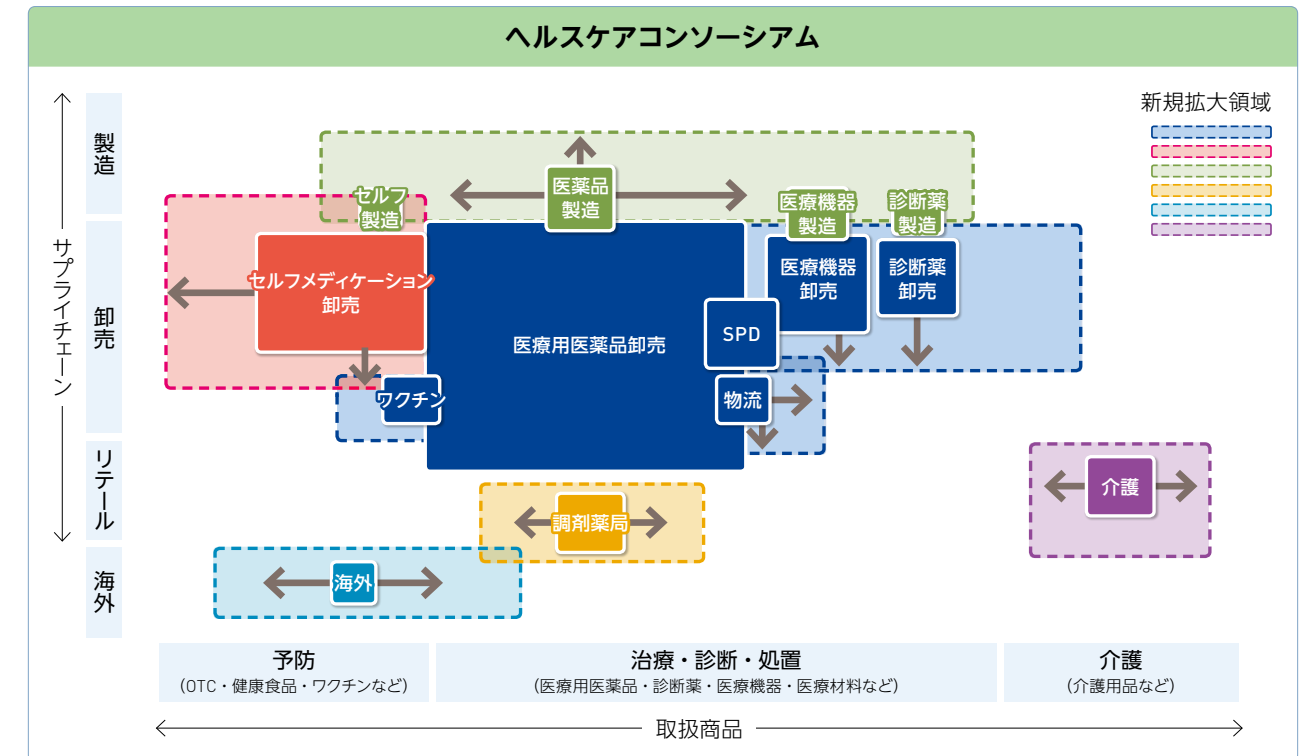
グループ経営方針の各項目において、以下の取り組みを進めていきます。

### グループ連携体制の構築

当社が持つ様々な事業セグメントにおける連携を強化し、今まで以上にグループの総合力を発揮していきます。また、成長分野における他企業との連携を積極的に進めます。

### 事業モデルの変革

医薬品主体の事業から、健康領域における幅広い事業へと領域を拡大します。成長分野への積極的な投資で事業モデルを変革し、さらなる成長に向けて確固たる事業基盤の構築をめざします。



地域の人々の健康への貢献

「地域包括ケアシステム」に関わる様々なステークホルダーをつなぐ、開かれたプラットフォームを構築します。地域医療を総合的に支える役割へ進化し、将来的には広範囲なサービス事業者と連携した「地域社会の健康・医療プラットフォーム」をめざします。



さらなる生産性の向上

従来の効率化の取り組みを継続しながら、新たな技術を活用した既存業務の効率化を進め、新規業務へ経営資源を再配分し、グループ全体でさらなる生産性の向上を図ります。

人づくり

アルフレッサグループの4つの人財要件\*のうち、「未知なる領域への挑戦心」と「環境変化に対する適応力」を重視した人づくり戦略を展開します。

\* 「未知なる領域への挑戦心」「生命を支える仕事への強い使命感」「環境変化に対する適応力」「信頼を得るための高い倫理観」

グループ経営目標

アルフレッサグループは、さらなる成長に向けて意志を持った投資を実行し、事業モデルの変革を進めていきます。

| 2022年3月期 目標 |            |
|-------------|------------|
| 売上高         | 2兆7,500億円  |
| 営業利益率       | 1.7%以上     |
| 当期純利益率*     | 1.4%以上     |
| 投資計画（累計）    | 1,200億円    |
| ROE         | 8%水準       |
| 株主還元        | DOE 2.3%以上 |

\* 親会社株主に帰属する当期純利益率

事業拡大投資 360 億円

・健康領域のM&A、出資ほか

事業強化投資 840 億円

・物流センター、事業所等の更新、新設など  
・製造設備、研究開発、製品導入など

## 三菱倉庫との研究会の立ち上げ

アルフレッサ(株)と三菱倉庫(株)は、次世代の流通を検討するための研究会を立ち上げました。次世代の「医薬品物流」と「再生医療等物流」をメインテーマとし、メーカー物流等の物流インフラの共同化・効率化や、今後の市場拡大が見込まれる再生医療等製品の物流、海外との物流、PIC/S GDP<sup>\*1</sup>への対応等を検討し、お客様にご提案できる協業ソリューションの構築をめざします。

また、労働力不足問題やIoT<sup>\*2</sup>、AI<sup>\*3</sup>等の先端技術の適用といった、医薬品の流通・物流分野における環境変化についても、新たな対応策の構築をめざします。

## 保冷品の輸配送 ツールを開発

アルフレッサ(株)は、医薬品の適正流通に関する国際基準であるPIC/S GDPに対応した保冷品の輸配送ツールである「alf-GDP-®Shipper」と、「alf-GDP-®Container」を開発しました。夏季だけではなく冬季においても一定の温度帯に維持する厳密な温度管理が可能であり、より高品質な輸配送を実現します。今後、グループ各社へ展開し、グループ全体で医薬品の輸配送の温度管理技術の品質向上と標準化を図ります。



## 特殊医薬品の流通管理のための新たなプラットフォーム構築へ

アルフレッサ(株)とPHC(株)および富士通エフ・アイ・ピー(株)は、特殊医薬品の流通管理のためのRFID<sup>\*4</sup>やクラウド等のIoT技術を活用した新たなプラットフォームの構築検討について、基本合意契約を締結しました。医薬品を取り巻く環境変化に対応し、製薬企業から患者様への投薬に至るまでの特殊医薬品の流通経路をシームレスに管理するための、新たな流通管理ソリューションサービスの提供をめざします。

## 台湾駐在事務所の開設

セルフメディケーション卸売事業において、アルフレッサヘルスケア(株)が初の海外拠点となる台湾駐在事務所を台北市に開設しました。中華民国(台湾)で小売店舗を展開するお客様の店頭での販促活動のサポートと、事務所ショールームでのアルフレッサヘルスケア(株)の専売商品・専売メーカー商品のご紹介による販売促進活動、台湾での消費者動向調査などを行います。お客様との一層の関係強化を図るとともに、専売商品・専売メーカー商品の販路拡大をめざします。

## 華潤医薬商業との包括的な戦略的業務提携

当社は、中国の複合企業グループ、華潤(集団)有限公司の医薬部門に属する大手企業である華潤医薬商業集団有限公司と、包括的な戦略的業務提携に関する合意書を締結しました。両社のブランド力、医療機関等の販売・物流のネットワークやノウハウなどの経営資源を持ち寄って、中国の医薬品流通市場における院内サプライチェーン管理や新たな薬局ビジネスモデルの構築、日中の商品輸出入業務などについて、共同で事業の開発・実現に向けた協議を行っていきます。

## 中国における便検査装置・試薬製品の供給契約締結

アルフレッサファーマ(株)は、中国の総合医療メーカー、上海復星医薬(集団)股份有限公司の医学診断薬部門である上海復星長征医学科学有限公司と、中国における便検査装置および試薬製品の供給契約を締結しました。中国では大腸がんの発生率、死亡率ともに増加傾向にあり、便潜血検査による大腸がん検診の受診が重要になっています。中国全土に広がる上海復星長征医学科学有限公司の体外診断薬の販売網を通じて中国市場における事業を拡充するとともに、医療に携わる企業グループとして社会に貢献していきます。



<sup>\*1</sup> PIC/S GDP：医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等の作成等に関する国際基準

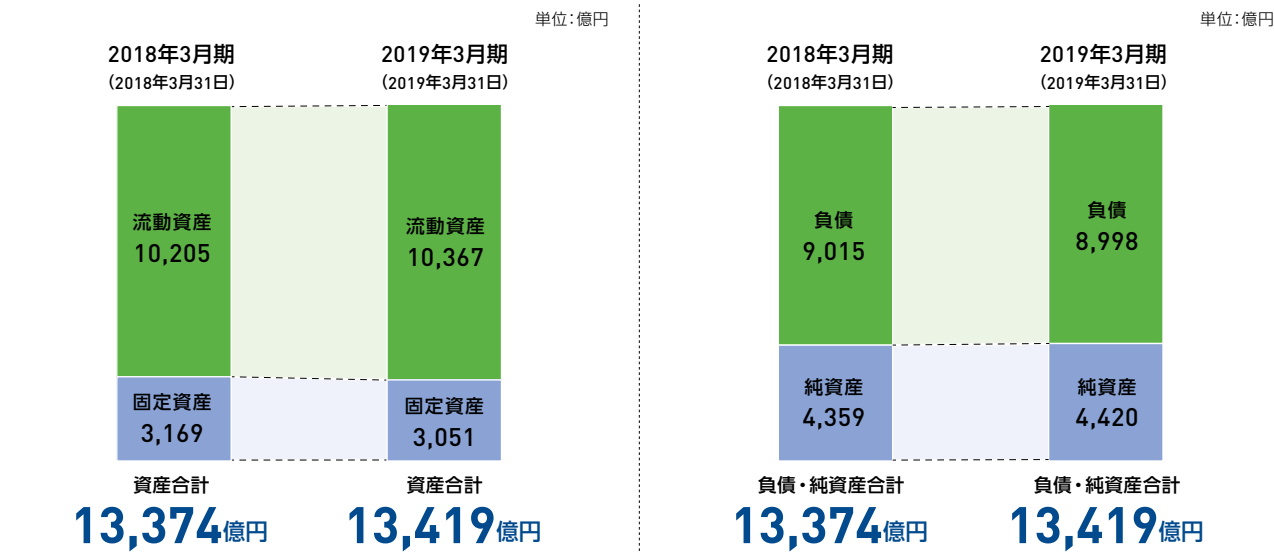
<sup>\*2</sup> IoT：身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み

<sup>\*3</sup> AI：人工知能

<sup>\*4</sup> RFID：ID情報を埋め込んだRFタグから、電磁界や電波などを用いた近距離の無線通信によって情報をやりとりするもの

連結財務諸表(概要)

連結貸借対照表



POINT ▶ 資産

資産は2018年3月期末と比較して、44億円の増加となりました。

流動資産：+162億円

現金・預金・有価証券+104億円  
受取手形・売掛金+11億円  
たな卸資産△0億円

固定資産：△117億円

有形固定資産+46億円  
無形固定資産+52億円  
投資その他資産△216億円

POINT ▶ 負債・純資産

負債は2018年3月期末と比較して、16億円の減少となりました。

流動負債：+56億円

支払手形・買掛金+28億円

固定負債：△73億円

純資産は2018年3月期末と比較して、61億円の増加となり、自己資本比率は32.9%となりました。

純資産：+61億円

利益剰余金+311億円  
自己株式△133億円  
その他有価証券評価差額金△125億円

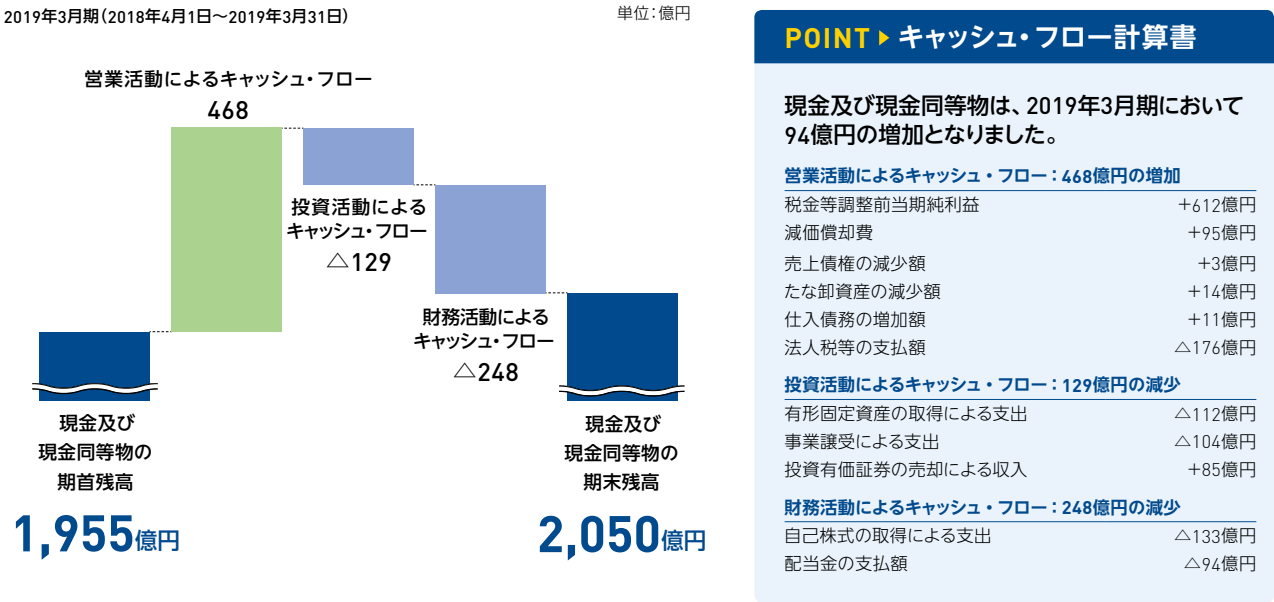
連結損益計算書

単位:百万円

| 科目                  | 2018年3月期<br>(2017年4月1日～<br>2018年3月31日) | 2019年3月期<br>(2018年4月1日～<br>2019年3月31日) | 増減額    | 2020年3月期予想 |
|---------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|--------|------------|
| 売上高                 | 2,602,917                              | 2,640,511                              | 37,593 | 2,680,000  |
| 売上総利益               | 193,554                                | 201,310                                | 7,755  | 205,500    |
| 営業利益                | 41,756                                 | 44,770                                 | 3,014  | 45,400     |
| 経常利益                | 51,861                                 | 55,125                                 | 3,263  | 55,600     |
| 当期純利益 <sup>*1</sup> | 35,589                                 | 41,699 <sup>*2</sup>                   | 6,109  | 37,600     |

\*1 親会社株主に帰属する当期純利益  
\*2 特別利益として投資有価証券売却益5,947百万円を含む

連結キャッシュ・フロー計算書



株式情報 (2019年3月31日現在)

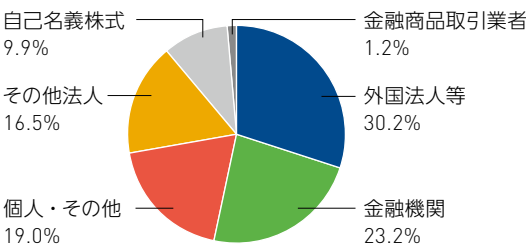
株式の状況

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 540,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 235,017,600株 |
| 株主数      | 9,478名       |

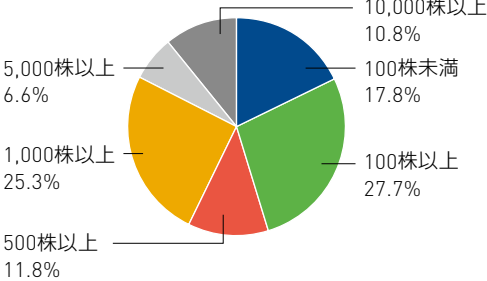
大株主

| 順位 | 氏名または名称                                             | 所有株式数<br>(千株) | 議決権比率<br>(%) |
|----|-----------------------------------------------------|---------------|--------------|
| 1  | アルフレッサ ホールディングス株式会社                                 | 23,343        | —            |
| 2  | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                             | 9,609         | 4.5          |
| 3  | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                           | 7,787         | 3.7          |
| 4  | アルフレッサ ホールディングス社員持株会                                | 5,358         | 2.5          |
| 5  | エーザイ株式会社                                            | 4,602         | 2.2          |
| 6  | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)                          | 4,293         | 2.0          |
| 7  | みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口<br>再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 3,908         | 1.8          |
| 8  | 野村信託銀行株式会社(福神家信託口)                                  | 3,800         | 1.8          |
| 9  | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001          | 3,380         | 1.6          |
| 10 | 第一三共株式会社                                            | 3,202         | 1.5          |

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要 (2019年3月31日現在)

|       |                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | アルフレッサ ホールディングス株式会社<br>(Alfresa Holdings Corporation)                         |
| 本社所在地 | 〒100-0004<br>東京都千代田区大手町一丁目1番3号                                                |
| 従業員数  | 12,076名(連結)                                                                   |
| 設立年月日 | 2003年9月29日                                                                    |
| 事業の内容 | 医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の<br>卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬<br>局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会<br>社の管理等 |
| 資本金   | 18,454百万円                                                                     |

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉薬
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

取締役および監査役 (2019年6月26日現在)

|            |               |
|------------|---------------|
| 代表取締役会長    | 鹿目 広行         |
| 代表取締役社長    | 久保 泰三         |
| 取締役        | 増永 孝一(副社長)    |
| 取締役        | 泉 康樹(副社長)     |
| 取締役        | 荒川 隆治(常務執行役員) |
| 取締役        | 岸田 誠一(常務執行役員) |
| 取締役        | 勝木 尚          |
| 取締役        | 島田 浩一         |
| 取締役(社外取締役) | 寺井 公子         |
| 取締役(社外取締役) | 八剣 洋一郎        |
| 取締役(社外取締役) | 金野 志保         |
| 常勤監査役      | 桑山 賢治         |
| 監査役(社外監査役) | 神垣 清水         |
| 監査役(社外監査役) | 加藤 善孝         |
| 監査役(社外監査役) | 伊東 卓          |

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アプロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社

ホームページでもIR情報を公開しています

より幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家情報」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や業績ハイライトなどを掲載しています。

また「統合報告書 2018」では、アルフレッサグループの中長期戦略や財務情報、ESGに関する取り組みなどを掲載しています。ぜひご覧下さい。

 <https://www.alfresa.com/ir/index.html>



「統合報告書 2018」